

地方独立行政法人山口県立病院機構評価委員会（第7回）の概要

1 開催日時

平成24年8月3日（金）10:30から11:35まで

2 開催場所

山口県庁本館棟4階 共用第2会議室

3 出席者

評価委員会委員：5名

事務局：7名

法人：10名

4 内容

(1) 県健康福祉部長挨拶

(2) 議事

① 報告事項

- 事務局から、第6回評価委員会の概要について資料1により報告。

質疑応答

なし

② 平成23年度における法人の業務の実績に関する評価について

- 事務局から、業務実績評価等の実施日程について資料2により、評価結果の素案について資料3により説明。

主な質疑応答・意見

〔●委員 ○事務局 □法人〕

- 部門別・診療科別収支を把握する手法の確立に向けて、現在、具体的な取組は行われているのか。

- 現在、平成23年度に整備した電子カルテシステムからの関連情報の活用について検討を進めているところであり、平成24年度中に確立予定である。

- 法人におかれては、独法化後、中期目標・中期計画に基づいて様々な努力がなされていることに対して、先ずは心から敬意を表したい。

今回の評価結果については、評価のための評価にならないよう、これからの病院運営の改善に十分活かしていくことが大事である。

今後、法人全体の士気を高め、理事長のリーダーシップのもと、役職員が一丸となって、中期目標・中期計画に掲げた項目に限らず、独法化のメリットを活かした取組を積極的に進めていくことで、県民から期待される県立病院とし

て更に発展していくことを願っている。

- 職員の満足度アンケート調査は平成23年度に実施されているが、患者の満足度についても、現在の意見箱だけでなく、アンケート調査を是非実施してほしい。併せて、患者の待ち時間短縮に向けた取組について、お伺いしたい。

- 患者に対する満足度調査についても、職員に対する調査と同様、重要であると考えており、できるだけ早く実施して病院経営に活かしていきたい。

患者の待ち時間については、電子カルテシステムの導入等によって短縮化が図られつつあり、また、受付から検査や診療までの時間、会計に要した時間などの把握及び分析が可能となったことから、現在、効率的な患者の動線など様々な対策を検討しているところである。

- クリニカルパスや治験については、患者によって受け止め方が異なるので、実施に当たっては、医療を受ける側の心情に配慮の上、十分な説明をお願いしたい。

- 計画と比べて営業費用が減少した要因として、給与費の減も評価書に言及した方がよいのではないか。

- 業務実績に対する評価であることを考慮し、評価書では、法人の経営努力による成果である材料費や委託費の節減を減少要因として取り上げて記載した。

評価委員会の意見のとりまとめ

平成23年度における法人の業務の実績に関する評価結果の原案については、今回提示された素案のとおりとすることで承認された。

③ 平成23年度における法人の財務諸表について

- ・ 事務局から、財務諸表承認の適否について資料4により説明。

質疑応答

なし

評価委員会の意見のとりまとめ

平成23年度における法人の財務諸表に係る評価委員会の意見(案)は、「法人の申請どおり承認することが適当である。」とすることで承認された。

④ その他

今後、評価書原案に対する法人の意見を踏まえて評価書を確定させることになるが、特に意見がない場合や、評価の結果に影響がない範囲の修正であれば、委員長に一任し、今回の議案に関して、評価委員会は開催しないこととした。